

公立大学法人大阪

令和3事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
(事務局 大阪府府民文化部府民文化総務課)

公立大学法人大阪の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和4年8月8日に開催された令和4年度第3回評価委員会において、令和3事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

○ 大項目について、4項目がA評価（計画どおり進捗）、4項目がB評価（おおむね計画どおり進捗）であることを確認した。

○ 委員会コメント

法人において、大阪公立大学の設置認可申請や初めての入学者選抜を確実に実施するなど、大阪公立大学の開学を実現されたことは、評価できる。

今後、教育・研究・社会貢献機能の更なる充実など、大学の統合効果の発揮に向けて計画を進め、高度研究型大学として、大阪の発展をけん引する「知の拠点」の役割を果たされることを期待する

また、大阪公立大学等の取組を府民および市民、ひいては社会に広く情報発信されるよう積極的に広報の取組を推進いただきたい。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
	S	A	B	C	D	
大阪府立大学の教育研究	S	A	B	C	D	研究成果の発信・還元について、特許の国内出願件数が目標未達成であるものの、「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースHIP創設事業」等の採択や、宇宙航空人材育成プログラムが文部科学省の事後評価において「S」評価を受けるなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。
大阪市立大学の教育研究	S	A	B	C	D	先端的な研究分野での連携における共同・受託研究件数や外部資金獲得金額や附属病院における地域医療及び市民への貢献に関する取組が目標を上回っており、他の項目についても年度計画を順調に実施していると判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
大阪府立大学工業高等専門学校 の教育研究	S	A	B	C	D	新型コロナウイルス感染症の影響の中、計画の達成に努められていることや全教員を対象としたFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動等、教員の教育力の向上・組織的な教育改善に向けて活発に活動していることなど、他の項目についても年度計画を順調に実施していると判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D	新大学設立時の運営体制の決定に向けた取組が一部未達成となっているものの、ダイバーシティの推進に向けた取組を進めるなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	寄附金確保の取組が一部未達成となっているものの、自己収入の確保が年度計画を上回って実施していることや、法人全体としても当期総利益では利益計上されていることなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。
自己点検・評価 及び情報提供	S	A	B	C	D	府大・高専における情報の提供に関する取組や、市大における市民への広報活動の強化の取組が目標を上回っており、他の項目についても年度計画を順調に実施していると判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
その他業務運営に 関する重要目標	S	A	B	C	D	府大における海外同窓会との連携の取組が一部未達成となっているものの、多くの学生・教職員に対し、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施するなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。
両大学の統合等に 関する重要目標	S	A	B	C	D	新大学として最初となる入学者選抜をトラブルなく実施するなど、新大学の開学に向けて府立大学と市立大学の統合を計画どおりに進めている。また、研究者の育成に関する取組が目標を上回っており、他の項目についても年度計画を順調に実施していると判断し、計画どおりに進捗していると評価した。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

※評価にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響により取組に遅れ等の影響が生じたもの、代替的な取組を実施したものについては、その状況を踏まえ評価を行い、当初予定の取組及び代替的な取組が実施できなかった一部項目については、評価不能とした。